

大阪府立図書館のレファレンスサービス ～ 自己責任、自己判断が求められる時代に府民の調査を支えます

- レファレンスサービスにおいて、より信頼性の高い資料・情報を提供します
- 専門的知識・スキルを持った職員が対応し、個別の回答は集積されさまざまな形で活用します
- 府政立案への資料・情報提供(Pサポート)、学校への支援サービスとしても役立てます

レファレンス・トータルプラン

利用者・行政・社会全体の
時間(コスト)を節約

情報を求める
利用者はさまざま

- 一般府民が日常生活の中で?
- ビジネス・シーンで?
- 子育ての中から?
- 子どもから?
- 研究者から?
- 学生から?
- お年寄りの方から?
- 障がいのある方から?
- 学校の先生から?
- 府の部局各課から?
- 出版社・放送局から?

.....
他府県図書館
大学図書館等
市町村図書館から

住民の身近な窓口は
府立図書館と
つながっています

必要な資料にたどりつけない
適切な情報を選べない
利用者をサポート



質問・相談
カウンターで
電話で
手紙で
FAXで
メールで

よりの確な資料・情報を、
より迅速に

利用者自身が自立して調
査できるように

他図書館・機関からの
資料取寄せ・紹介も

レファレンス・ライブラリアンには

- 多様な資料・情報に関する知識が必要
(参考図書、所蔵資料、出版情報、時事情報等)
- 調査能力・技術が必要
(調査の定石、専門知識、他機関情報等)
- 検索技術が必要
(蔵書検索、DB検索技術、ITサイト情報等)
- インタビュー能力が必要
(引き出す技術、判断力、ホスピタリティ等)
- 地域社会の課題や問題把握が必要
(時事情報への関心、関連資料準備)

豊富な資料と経験

- <中之島図書館>
明治37年開館
54万冊
- <中央図書館>
平成8年開館
250万冊
(うち児文館70万冊)

強力な ネットワーク
府内図書館・全国の図書館
国会図書館
大学・研究機関等=相互協力

レファレンス業務は多様なサービスを生み出す

【情報リテラシー・利用促進へ】

- ・利用者向け講習会の開催
(情報検索講習会・オンラインDB研修)
- ・広報リーフレット(事例紹介)作成

【情報発信】

- ・調査ガイド、パスファインダーの作成、HP公開
- ・レファレンス事例DBの蓄積の強化
(大阪文献DB、レファレンス協同DB登録)
- ・メールマガジンで事例紹介

【支援サービス・研修】

- ・市町村図書館向レファレンス研修
- ・教育センターと連携した教員向け研修
- ・児童生徒の調べ学習支援、貸出セット
- ・行政支援(Pサポート)の充実

【専門情報・機関連携】

- ・大阪古典籍、児童文学・児童文化、ビジネス支援
セミナー・講座・講演会
- 各種情報提供・調査研究支援 等

【資料整備】

- レファレンス・ブック整備
- ツールの作成

【見える化】

- 方針・基準の明確化
- 情報共有

【人材育成】

- スキル継承
- 職員・スタッフの研修